

2023年7月7日
SCSK株式会社

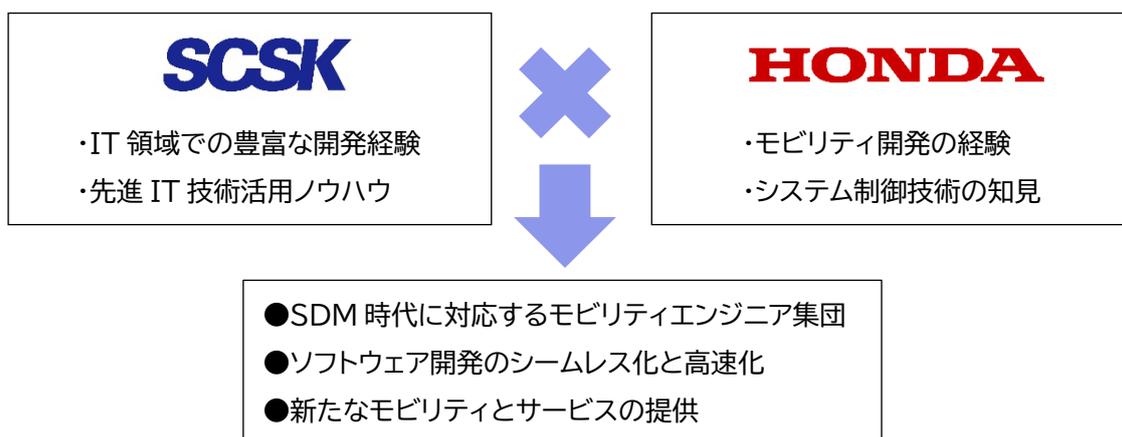
本田技研工業とソフトウェア開発領域における 戦略的パートナーシップに基本合意 ～Software Defined Mobility 時代に向けたクルマづくりの変革を加速～

SCSK株式会社(本社:東京都江東区、代表取締役 執行役員 社長:當麻 隆昭、以下 SCSK)は、本田技研工業株式会社(本社:東京都港区、取締役 代表執行役社長:三部 敏宏、以下 Honda)とソフトウェア開発領域における戦略的パートナーシップに関する契約の覚書(以下 本パートナーシップ)を締結いたしました。HondaとSCSKは、Software Defined Mobility(以下 SDM)時代に向けた双方の戦略を実現する協働開発関係に深化し、2030年に国内で1,000名を超える規模のモビリティエンジニア体制を構築していきます。

1. 背景・目的

近年、自動車は価値観やニーズの多様化から、急速に高機能化が進み、その機能のほとんどがソフトウェアによって実現されています。さらに今後は、SDMの思想にもとづき、ソフトウェア中心のクルマ作りが加速していきます。

本パートナーシップでは、Hondaが持つシステム制御技術とSCSKが持つIT技術といった互いの強みを持ち寄り、ソフトウェア開発のシームレス化と高速化を実現する新たな体制を構築するとともに、継続的なモビリティエンジニアの育成と、次世代に向けたモビリティ製品・サービスの開発に取り組んでいきます。



2. パートナーシップによる取り組み

本パートナーシップにおける両社の協業予定領域は、以下の4領域です。

- ・次世代電子プラットフォームのオペレーティングシステム
- ・電動パワートレイン
- ・先進安全、自動運転
- ・IVI(インビークルインフォテインメント)

また、本パートナーシップでは、両社の強みを最大限に活かして、新たな価値創造に向けたさまざまな取り組みについての検討を進めてまいります。

●協働チームにおける共創活動

上流工程を中心とした共創活動に両社で取り組むことにより、モビリティエンジニアの育成と開発体制の拡大を推進します。双方の密な人材交流と柔軟な働き方を実現し、ロケーションフリーなリモート開発環境と両社のエンジニアが協働で開発可能なオフィスの設置を検討します。

●モビリティ人材育成

共創活動を軸に、基礎教育向けプログラムの相互活用と新規開発、エキスパート人材の育成、業務ナレッジの蓄積、活用の仕組み化などの施策を検討します。

●新たな価値創造に向けた取り組み

ソフトウェアアップデートによる機能進化に応えるアジャイル開発プロセスの共同開発、開発アセットを活用した新たなツールチェーンの開発など、協働開発関係から新たなテクノロジーやサービスの創造を検討します。

SCSKは本パートナーシップを通じて、お客様に高度で幅広い開発支援サービスを提供するとともに、新たなサービスやソリューションにより自動車業界への貢献とモビリティサービス事業の拡大を目指します。

SCSK株式会社について

SCSK株式会社は、コンサルティングから、システム開発、検証サービス、IT インフラ構築、IT マネジメント、IT ハード・ソフト販売、BPO(ビジネス・プロセス・アウトソーシング)まで、ビジネスに必要なすべての IT サービスをフルラインアップで提供し、お客様のビジネス価値向上に貢献します。

モビリティ関連のシステム開発において 40 年以上の経験と実績があり、ソフトウェアが進化をけん引する SDM 時代に向けて、モビリティ事業領域に注力しています。

<https://www.scsk.jp/>

本件に関するお問い合わせ先

【製品・サービスに関するお問い合わせ先】

SCSK株式会社

モビリティ事業グループ

モビリティシステム第一事業本部

E-mail: mobility-info@scsk.jp

【報道関係お問い合わせ先】

SCSK株式会社

サステナビリティ推進・広報本部 広報部 土岐

TEL:03-5166-1150

※ 掲載されている製品名、会社名、サービス名はすべて各社の商標または登録商標です。